

竹村ほまれ 後援会だより

2014/4/26 No 012

後援会責任者 林高文 83-0341

竹村ほまれ連絡先 Fax: 81-4371

携帯: 090-6545-2254

HP: <http://homare.ina-ka.com/>

ブログ、FB: [竹村ほまれ](#) と入力し検索を

市民生活を守る市政に

この冬は、記録的な豪雪に見舞われ、当市でも13年ぶりの大雪に交通事情や農業被害等に大きな影響が発生し、自然災害に対応する課題も残りました。

一方私たちの生活をみてみると、4月より消費税が8%に増税され、相次ぐ光熱費や燃料代、生活全般の物価が高騰し、生活を支える所得実態もアベノミクス効果など何処の世界だ...?と思わせるのが市民生活の現実です。

その上、年金の引き下げや社会保障の削減が拡大し、市民生活を二重三重に苦しめています。

また「秘密保護法」や「集団的自衛権の行使」など、多くの国民が望まない「戦争」が出来る国への道を安倍政権のもと突き進んでいます。このように庶民の願いとかけ離れた政治が行われていることで、市民生活を守る地方自治体の果たす役割が重要になっていきます。



消費税増税、年金引き下げ反対! 宣伝行動

自慢の眺望と桜



異常気象の産物ともいえる大雪に見舞われたこの冬季でしたが、駒ヶ根市に春がいつきに来るにやってきました。福寿草に続き水仙や「フシ、モクレン、桜、花桃、ミツバツツシ等...」これだけの花が続いて同時に咲き誇る年も珍しいのではないのでしょうか? 今年はどの花も何時になく色鮮やかに感じます。二つのアルプスを眺望する当市ならではの景観が咲き誇る花をより鮮やかに彩りました。

☆「ほまれ」が市政を質す! (平成25年度)

平和問題

○現行憲法と現行憲法改正に対する市長の見解は

日本国憲法の誇る平和主義、主権在民、生存権保障、個人の幸福追求権、地方自治等。自治体の首長として憲法を擁護し、市民の命と暮らしを守る市長の立場から憲法改正に対する政治姿勢を質しました。

○特定秘密法案について市長の政治姿勢と当市への影響は

秘密主義による情報公開を後退させる等の自治体への影響、又市民の知る権利や言論の自由等市民生活への影響に対する見解と、悪影響が現実的となった場合、市長としてどう対応するのかを質しました。

暮らし

○緊迫化するTPP交渉参加表明! 動向と市の影響は

農産物関税の除外や、国益を守ることに政権が担保されないうままTPP交渉参加を進める政権与党の動向をどうのこうの考えるか。

農業に限らず食の安全や医療、公共事業、雇用、国民皆保険など多岐にわたる駒ヶ根市の影響をどのように考え、試算しているのか。

○書籍被害の現状と課題、対策

※実績を掲載し裏面に詳細
○インターネットを活用した

広報の充実を

・地方的な情報発信となっている当市の公式HPにかかると構築費用や維持経費は、人と人との繋がりを促進・サポートする「コミュニティ」型の交流サイトへの移行や活用の考えは。

雇用

○正規採用を増やす努力を

裏面(月議会)に詳細を記載。

福祉

○難聴対策の充実を

難聴者の聞きたいと願う欲求に、自治体が応える時代に来ている。

公共の場から磁気ループシステム等の難聴対策を導入する考えは。

○介護保険制度の改定案

当市の影響は

市町村事業に移行する訪問通所介護の影響は。

特養から要介護者1,2を締め出す冷たい改定案だが、特養以外での生活が著しく困難とされる基準と当市の対応は。

・制度改悪により影響を受ける利用者への支援対応は。

○障がい者居住施設の建設は

裏面(月議会)に詳細を記載。

地域生活

○竜東振興計画の位置付けは

過疎化から脱却し、若者が定住出来る活力ある竜東振興を総合計画に明確に位置づけるべきだ、考えは。

○農業を生かした

6次産業の推進と方策は

農林山村の活性化が期待される「6次産業」の現状と課題。また更なる推進を後押しする施策の考えは。

○人口5万人都市と同じ経済効果を生み出す施策の考えは

・入がいてこそ成り立つ行政だ。対策委員会やプロジェクトを組織して、思い切った子どもを増やすための施策を打ち出す考えは。

竜東地域への土地利用の計画が積極的・雄大なアルプスの眺望を活かした、移住や交流人口の増加を展望した計画の策定が出来ないか。

里帰り出産出来る環境と課題は

裏面に続く

3月議会の一般質問

☆幹線道路の除雪が遅れた要因と課題は

質問 今回の大雪により当市は13年ぶりの豪雪に見舞われ除雪対応に追われた一方、他市との比較で幹線道路の除雪が遅れたとの声も寄せられた。要因・課題は何か。

降雪量が多く除雪体制の確保が遅れた

市長 幹線道路の除雪を、市内14社に委託、その他の市道は自主除雪登録者に依頼していたが降雪量も多く主要除雪の農業用トラクターも能力的に間に合わない中、連日の除雪対応でオペレータや交通誘導員等の確保に時間を要し、除雪が遅れた。

☆除雪困難世帯への

支援体制は機能したか

質問 高齢者世帯の方などから、私のところにも玄関に雪が吹き溜まってドアが開かない心臓が躍って雪かきが出来ない等の除雪救助が寄せられた状況もあったが、高齢者、障がい者世帯などへの声掛けや、様子を伺う、公助や共助の支援体制は機能したのか。

地域コミュニティは

機能した

市長 民生委員各区分自主防災組織、地区社協等が支援に動いて頂き、地域コミュニティにおける助け合いが機能したと思う。

地域の中での関係希薄化が今後の大きな課題と捉えている。

☆今議会中に農家負担がゼロになる支援策を

質問 農業経営を成り立たせるためにも、被害農家の負担が極力ゼロになるような支援策を講じ、雪害による農家の不安を払しょくする補助制度の実現を、今議会中にも早急に実現させる決断を図りたいが、考えは。

農業者の負担を1割に

市長 国の政策に対応して、伊南地区農業振興連絡協議会にて、ハウス等の再建・修繕につき、国の10分の5の補助に加え、10分の4を上乗せする事により、農業者の負担を10分の1とする。倒壊したハウスの撤去費用については国が2分の1、県市が2分の1を負担することで検討を進めています。



再建支援が決まった農業用ハウス

※「ほまれ」の復興支援要求が、議会中に実現!

※議会中に、雪害復興に対する8130万円の補正予算が上程され可決しました。

実質、被災農家のハウス等の撤去費用負担ゼロ。

ハウス再建・修繕費用負担1割等の支援策が実現しました。

☆障がい者の自立を助ける住環境は

質問 障がい者の自立や、生活を助けるグループホームなどのインフラ整備の具体策等、生活の拠点となる住宅の供給、入居支援などはどうなっているのか。

来年度に向け新設予定

市長 現在入所が出来なくて困っている状況はないが、グループホーム等の設置は、現在市内に19か所。来年度に向けて3か所ほどグループホームの新設も予定されています。

※ほまれ 障がい者の地域生活への移行を助け、安心して生活できる住環境と、地域で支え合いながら生活できる協力体制の整備構築を重ねて要望する。

☆正規職員化を

推進する考えは

質問 当市に働く職員自らが安定した雇用体系の許、率先して責任ある住民サービスの提供に努める一方で、不安定雇用を許さない模範としての駒ヶ根市であるべきだと考えるが、正規採用を推進する考えは。

計画的な職員採用を

市長 正規採用数の確保については重要な責任があると考え、しかし行政にも経営的視点が必要とされる。理解を願いたい配慮しながら計画的な職員採用に努める。

